

第3期（2018年度）事業報告

1. 法人運営

2018年度の活動

日程	活動内容	場所
4月	21日 イルミネーション撤収	
	26日 こども食堂	コミュニティゲート
	28日 清水沢まちあるき	
5月	12日 無印良品植栽ツアー（講演）	
	13日 22日 会員利用	コミュニティゲート
	14日～10月31日 清水沢アートパワープラント	
	20日 宮前町お祭り	
	24日 こども食堂	コミュニティゲート
	27日 清水沢まちあるき（日曜開催）	
	29日・30日 横須賀高校研修旅行カヌーガイド、ディスカッション	
6月	1日 北海道大学公共政策大学院フィールドワーク	
	4日～6日 メイボン尚子さん滞在 5日アートトーク	コミュニティゲート
	16日 定時社員総会	コミュニティゲート
	21日 こども食堂	コミュニティゲート
	23日 清水沢まちあるき	
7月	6日 ズリ山草刈り	
	9日 キセキノ講演	
	19日 こども食堂	コミュニティゲート
	21日 一般滞在利用	コミュニティゲート
	22日 ズリ山整備	
	22日～8月9日 シニアフォトキャラバン	コミュニティゲート
	26日～27日 清水沢お泊り会	コミュニティゲート
	29日 清水沢まちあるき	
	30日 さつき園遊会	
8月	1日～3日 立教大学ゼミ合宿利用	コミュニティゲート
	4日 シニアフォトキャラバンイベント・夕張バトン（夕張駅前）	
	8日 エミルさんイベント	コミュニティゲート
	23日 こども食堂	コミュニティゲート
	25日 清水沢まちあるき	
	30日～2月15日 清水沢駅展覧会「われらは清水 ま清水の——『清水沢小学校を記憶する調査室展』から、まちを見つめる」	

日程	活動内容	場所
9月	2日 汽車フェスタ（共催）	
	3日～4日 JR夕張まちもの語りツアー（6日～7日は地震のため中止）	
	8日～15日 発電所見学中止（地震のため）	
	21日 こども食堂	コミュニティゲート
	22日 清水沢まちあるき	
	25日 ズリ山専門家調査	
10月	6日 札幌ゆうばり会参加	
	12日 こども食堂	コミュニティゲート
	15日～16日 北海学園大学レクチャー・アテンド・ディスカッション	コミュニティゲート
	22日～23日 JR夕張まちもの語りツアー（9月6日振替）	
	27日～11月10日 ヤマを伝える展	
	27日 清水沢まちあるき	
	28日 東京夕張会参加	
11月	3日 団体臨時列車夕張の記憶ミュージアム号	
	4日 東京大夕張会参加	
	6日 イベント利用（市長と話そう会）	コミュニティゲート
	12日～23日 イギリス出張（15日・WorMトークイベント、19日RGUレクチャー）	
	24日 清水沢まちあるき	
	27日 紅葉山新生クラブ参加	
	30日 こども食堂	コミュニティゲート
12月	1日 宮前町クリスマスイルミネーション設営・アバディーン報告会1	
	20日 こども忘年会・イルミネーション点灯式・アバディーン報告会2	コミュニティゲート
	22日 清水沢まちあるき	
1月	13日・14日新年行事	
	25日 記憶ミュージアムカフェ（老人福祉会館）・こども食堂大掃除	
	26日 清水沢まちあるき	
2月	1日～28日 菊池史子さん滞在	コミュニティゲート
	14日 貸室利用あり（テレビロケ控室）	コミュニティゲート
	16日～3月31日 清水沢駅展覧会「ありがとうさようなら清水沢駅」展	
	16日 清水沢駅お誕生会	
	18日 旭川夕張会参加	

日程	活動内容	場所
	21日 法政大学フィールドワークレクチャー	
	22日 こども食堂（宮前集会所）	
	23日 清水沢まちあるき	
3月	15日 こども食堂（宮前集会所）	
	17日～25日 平野出張写真館滞在	コミュニティゲート
	23日 清水沢まちあるき・文化協会三賞授賞式	
	31日 JR夕張支線お別れセレモニー出席・清水沢駅営業終了	

本年度は受託事業と発電所見学収入があり、売上は倍増したものの、助成金・売上・会費収入ともに計画を下回り、経常収入が目標に約40万円届きませんでした。経常費用については事業拡大するなかで支出を圧縮し、超過額は約14万円でしたが、車両費（ガソリン代）や支払手数料（Adobeライセンス）など代表理事が個人で負担していた経費を法人からの支出に切り替えたことが大きく響きました。その結果、財産増加額は△65.7万円となり、負債を33.2万円抱えている状態です。

雑給については、発電所ガイドとスキャン作業に従事いただいた高丸勝義さんに、時給1,000円で支払いました。村上事務局長は、草刈り等気にかけてくれつつも、地域おこし協力隊の業務が忙しく、法人の業務ができない状態にあります。昨年の総会で支払いを継続するべきという意見があり、12月まで継続していましたが、本人が報酬の返上を望んでいることと法人の経営状態を鑑み、1月支払い分から報酬分を寄付していただいている状況です。

山田一成税理士（東京都足立区）との顧問契約継続を行いました。が、経理処理が月次監査に間に合わないなど、本来の顧問税理士として存分に活用させていただくことができなかったため、今期から単発の契約に移行します（年額10万円）。

夕張市黄色いハンカチ基金助成として、大地コンサルタント株式会社からの用途指定寄付（29万8千円）をいただき、清水沢コミュニティゲートの運営に使いました。また、同じく黄色いハンカチ基金から「清水沢地区の炭鉱遺産整備活用保存推進事業」でも10万円の助成金をいただき、清水沢地区の炭鉱遺産、主に旧北炭清水沢火力発電所の一般公開事業「清水沢アートパワープラント」の安全な見学体制刷新（有料ガイド付き見学体制）と、清水沢ズリ山の整備を中心に行いました。

清水沢エコミュージアム構想10年計画が完了し、3月、その最後に夕張市文化協会から「市長奨励賞」をいただくことができました。地域そのものが大きく転換する中で、これからも忘れ去られがちな価値に目を向けて活動を進めていきたいと考えます。

各事業の報告

(1) 炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業

旧発電所（清水沢アートパワープラント）

来場者が増えて東亜建材工業（株）の業務に支障が生まれていたこと、建物の老朽化で危険もあること、ならびに本来の歴史と価値を正しく伝え、保存活用のあり方を来場者と共に考える場にするため、予約制・有料・ガイド付きのみという見学体制に変更しました。具体的にはガイドの車にのせて施設まで連れて行き、完全にガイドが側に付き、常に対話を行うというやり方で行いました。5月14日～10月31日の期間中、見学197回、団体6回、撮影コーディネート4回、500名ほどの来場者があり、ガイド2名で全員の対応を行いました。一対一組で来場者と対話したことで、アンケートでの満足度が非常に高いという結果になり、有料にもかかわらず「遺産の価値や保存活動を考えると高くて良い」という意見も多数ありました。安全性の確保の点でも、今後もこの方法を続けていくのが妥当だと思われまます。保存のための調査などは、助成金が取れず断念しました。

ズリ山

7月6日に清栄町さつき町内会に依頼し草刈り作業を行い、その後22日に清水沢プロジェクトメンバーと有志合計10名で整備作業を行いました。今年は東亜建材にお願いし、鉄杭を多数いただき、杭の入れ替えを行いました。また日頃からズリ山に登り親しんでいる小学生10名が参加した「清水沢お泊り会」イベントの際、「足りないと思う看板を自分たちで考えて作る」ワークショップを開催しました。清栄町さつき町内会の園遊会とは別日になりましたが、滞在中のシニアフォトキャラバンの二人も含めて参加させていただきました。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震発生後にズリ山山頂部にヒビが見られたことから、21日（金）に市役所からズリ山の立ち入り制限を行う通告がありました。すぐに友人で防災の専門家である大浦宏照氏（HRS株式会社執行役員・技術士）に相談したところ、連休明けの25日（火）に早速調査を実施してくれました。アドバイスに従い亀裂の埋戻しを行った上で、結果を市長に提出し、27日（木）に「規制なし」の判断を得ることができました。

清水沢駅展覧会

8月末に「われらは清水 ま清水の一『清水沢小学校を記憶する調査室展』から、まちを見つめる」展、2月に最終展となる「ありがとうさようなら清水沢駅」展を行い、2月16日の清水沢駅開駅122周年の日には、122本のバースデーキャンドルの設置を行いました。日に日に多くの方が駅を訪れるようになり、最終展の寄せ書きは7枚がいっぱいになりました。駅の廃止にともない、2011年から7年半にわたり開催した展覧会を終了しました。

その他の炭鉱遺産・関係箇所

3月30日に旧北炭清水沢炭鉱事務所所有者の（有）盛木・佐藤社長と話す機会があり、見学対応と法人への支援、廃業後の所有権移転の話をしていただきました。まずは清水沢プロジェクトが窓口となって、見学箇所を含めることを実施していきます。

石炭博物館との連携は、今年も行うことができませんでした。リニューアルオープン後に市民と連れ立って10回ほど入館しましたが、先方の責任者から「ガイドはしないで下さい」との発言があ

り、困惑しているところです。しかし今後も連携が必要であることは変わらないことから、アプローチを続けていきたいと思えます。

観光ガイド・視察アテンド（収益事業）、調査・研究アテンド（非収益事業）

発電所のガイドが多かった関係で、収益事業の炭鉱遺産・地域事情のガイドや視察受け入れは、非収益事業の調査・研究のアテンドは合計21件（発電所のみの場合を除く）と、第1期が30件、第2期が47件であったことを考えると、かなり少なくなってしまいました。理由は、「破綻10年」が過ぎ、視察ニーズが減少したこと、芸術祭が終わったこともありアート関係者の視察が減少したことが考えられますが、廃線ブームに乗じた営業活動などを行わなかったため、個人客に訴求することが少なかったことも挙げられます。売上は発電所ガイドと合わせて、約78万円（昨年71万円）と、ほぼ横ばいです。

月別ガイド実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数 (件)	0	4	4	3	3	2	3	1	0	1	0	0	21
収入 (円)	0	29,740	67,800	42,480	34,000	20,000	30,920	91,800	0	15,120	0	0	331,860
前年件数 (件)	0	6	8	3	2	10	10	4	1	1	0	2	47
前年収入 (円)	0	31,020	207,220	23,551	6,480	110,980	130,620	188,480	10,000	3,000	0	3,310	714,661

※ガイド（収益事業）+研究調査指導料（非営利事業）の合計

(2) 地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業

「夕張市関わり人口創出（歴史・文化の継承）業務」（115.6万円）を受託しました。関わり人口創出プラットフォームとして、前年度にスタートした「みんなでつくる夕張の記憶ミュージアム」の運営や、アルバイトを使って投稿データの管理など実施しました。夕張市が主催した11月3日のJR石勝線夕張支線の団体貸切列車「夕張の記憶ミュージアム号」では当法人がイベント企画を行い、当日は実行委員会として当法人のメンバーが主体となり、イベント運営に協力しました。また、各地の夕張会（札幌・東京・東京大夕張・旭川）に関わり人口創出事業と記憶ミュージアムの普及啓発PRとして参加し、「みなさんの記憶を夕張の誇りとし、まちづくりに活用させていただきたい」という話をしました。さらに広報ゆうばりには「夕張の記憶ミュージアムコーナー」を2018年7月号から毎月掲載しています。

また、実行委員会名義で、山口一樹さんが中心となり、「展覧会ヤマを伝える」を10月27日～11月10日の間の13日間、市民研修センターで開催しました。来場者数は450名で、そのうち夕張市外からの来場者は60人でした。この成果は、空知総合振興局の「そらち『炭鉱の記憶』提案活動協働実

践事業」の採択され、冊子として発行しました。この冊子はゆうばり小学校4年生に配布したほか、向こう3年分もストックしてあります。

当法人で月例で開催している「清水沢まちあるき」を、8月から夕張の記憶ミュージアムと夕張 Likers！連動企画とし、関わり人口創出事業のPRを積極的行いました。各回市外からの参加希望者についてはあらかじめ申込みフォームで把握し、「夕張 Likers!名刺」をプレゼントしました。清水沢まちあるきは、すでに3年以上行っている事業ですが、関わり人口創出事業の一環で行うようになってから固定ファンが明確となり、リピート率が高くなっています。

これまで「過去の記憶」「記録資料」は、文化財の側面から捉えられており、行政の中でも教育行政が扱う分野として認識されていました。しかし私たちは過去の活動から得た知見により、それらは地域資源であり、観光や交流にも活用できるのではないかと考え、本事業を推進しました。特に SNSの活用によって夕張から離れた人々や関心を持った人々に直接訴求を行うという先進的な取り組みに「過去の記憶」がツールとして用いられるということは、極端に人口が減少したものの巣立っていった人が多い夕張ならではの活用のあり方であり、「人々の記憶をまちづくりの糧に活用できる」という実証が得られたと考えます。本事業により「記憶はまちづくりの糧である」ということが広く内外に認識され、夕張市民の誇りを醸成し、心のふるさととして夕張を思う「関わり人口」の増加と次世代を担う夕張市民の育成につなげることができると考えています。

大地コンサルタント株式会社からの黄色いハンカチ基金用途指定寄付をいただくきっかけになった菊池史子さんには、2月の滞在の際に現物支給として施設利用料の免除、アテンド料の免除を行いました。

(3) 炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業

夕張市と締結した「清水沢エコミュージアムプロジェクトに係る連携協定」の3年度目となり、「旧宮コ23棟」施設の無償貸与を受け、「清水沢コミュニティゲート」として、運営を行いました。

例年滞在して活動するシニアフォトキャラバンと菊池史子さんが今年も来てくれ、活動の幅を広げてくれました。また6月には、スコットランドからキュレーターのメイボン尚子さんが初めて訪れ、アートトークを行いました。それに触発された大学院生のエミル・サンピエールさんが、修士論文の発表会を行うなど、好循環を見せました。8月には、初めて大学のゼミ合宿（立教大学）を受け入れました。他の滞在者もいる時期で、部屋割りに苦労しましたが、地域のレクチャーなどを含め、腰を落ち着けてフィールドワークを行う手伝いができました。

「清水沢アートパワープラント」は受付場所をコミュニティゲートとしたため、見学者の多くから「炭鉱住宅の中に入れてよかった」と好評でした。コスプレ撮影目的の来場者には、着替えやメイクに部屋を貸したことで、「スタジオ撮影するのと同じくらい利便性がよい」と非常に好評でした。

清水沢コミュニティゲートで月に一度開催している「こども食堂」（主催／夕張こども食堂実行委員会・共催／一般社団法人清水沢プロジェクト）も2年目を迎え、今年度は夏休み中に「こどもお泊まり会」も開催しました。

経費の面で、水道光熱費については、冬場に滞在者があったものの、ほぼ昨年と同じ水準となりました。9月6日の北海道胆振東部地震による被害はありませんでしたが、2月に滞在者がいる状態

で停電と地震が起こり、Docomoの電波につながるiPad Proが活躍しました。除雪については、今年もご厚意で清栄町の八幡石材店さんが除雪に入ってくださいだったので、大いに助かりました。

一方で、この冬の大雪で屋根が曲がっているのを確認しています。大規模な修繕については市に行っていただかなければならないので、注意深く様子を見ていきます。

オフィス利用については、1号室2階の6畳間を山口さんのオフィスとして1ヶ月1,500円で貸しています。これ以上の専有利用は厳しいので、使用料を徴収することより、できるだけ軽減した上で、入居者と役割分担を行い、経費の削減や広報効果などと交換する方向にしたいと考えます。

開館は発電所見学の関係で、ほぼ不定期開館になってしまいました。ふらっと立ち寄ってもスタッフがいないという状況は、よりどころとしての機能を十分に果たせているとは言えません。不定期開館であることがコミュニティゲート自体の来訪者を増やす取り組みに本腰を入れられないという悪循環となってしまっていますが、現状の体制では致し方なく、工夫が必要だと感じています。

コミュニティゲート利用実績（滞在利用・オフィス利用・こども食堂）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数 (件)	1	1	2	6	3	1	1	1	1	0	2	3	22
収入 (円)	0	3,000	0	51,840	13,000	64,600	0	0	0	0	9,720	55,520	197,680
前年件数 (件)	1	1	2	5	4	4	3	2	2	1	2	2	29
前年収入 (円)	0	0	0	84,200	10,904	32,240	48,148	3,000	114,760	0	9,720	55,000	357,972

水道光熱費比較表

2017年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	7,264	6,373	5,708	5,650	6,252	6,222	6,554	5,437	8,038	7,677	9,370	6,563	81,108
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	119,712
浄化槽	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	134,400
灯油・ガス	37,652	28,434	5,693	5,154	5,420	6,042	4,889	6,175	5,738	5,644	31,507	5,644	147,992
2018年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	9,370	6,563	5,909	6,284	7,861	6,044	6,021	6,064	5,966	9,209	10,472	9,476	89,239
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	119,712
浄化槽	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	134,400
灯油・ガス	17,138	4,708	5,717	6,022	5,272	8,012	5,846	5,482	5,738	5,191	48,323	5,086	122,535

(4) (1)～(3)各号に関する活動を目的とした来訪者の受け入れ、情報提供、支援に関する事業

「ゲート」の門番的機能として、徹底したゾーニング、観光者を自由に歩かせないなど意識して進めています。今回目立った整備活動は行っていませんが、研修として石炭博物館の入場とアイアンブリッジ・ゴーシュエコミュージアムの視察を行いました。

夕張の炭鉱について学ぶことができる小冊子に類するものとして、「ヤマを伝える」を発刊することができました。

(5) 地域活動の活性化支援事業

本年度も町内会事業への参加を行い、クリスマスイルミネーションの設置作業などを行いました。宮前町は町内会に加入し、お祭りとはお賽銭を供えています。清栄町さつき会には、園遊会時に寸志として日本酒の差し入れを行っています。

「こども食堂」は二年目となり、定例開催による固定収入の確保ができました。狭く二部屋に分かれるため、調理員さんへの負担がかかるなど、必ずしも使い勝手がいい施設ではないだけに、使っていただけることをありがたく思います。運営スタッフが少人数で、子どもたちがのびのびと遊ぶサポートをしきれなかったりと課題はありますが、今後も子どもたちの原風景を築いていくため、コミュニティゲートでの開催を継続できるように努めます。

(6) 地域情報の受発信、物販に関する事業

3月に制作した「企画展示『清水沢小学校を記憶する調査室』を記録する調査報告書」が完売したので増刷しました。Yubari craft & goodsでは、アクセサリー作家の浅野文香さんに石炭グッズの制作を委託しました。当初委託料2割でお願いしていましたが、製造原価がかかるため現在は買い切りで納品していただいています。また清水沢プロジェクトのポストカード（3種類）や当法人で委託販売を受けている三菱大夕張鉄道のグッズ類なども再委託して販売いただきました。

(8) 地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業

11月、キュレーター・メイボン尚子さんの企画で、1970年代の北海油田発見以降、石油ガス産業の街として栄えてきたスコットランド・アバディーンにお招きいただき、「夕張×アバディーン～芸術・文化による交流の可能性を探る」として、同地のピーコック・ヴィジュアル・アーツ「W or M」ならびにロバートゴードン大学にて、ディスカッションイベントとセミナーを行いました。現地ではメイボンさんご主人のロバート・ゴードン大学レズリー・メイボン准教授に手厚くアテンドいただき、近隣のアートレジデンスなどの取り組みも視察しました。

講演の中で、夕張がすでに歩んできた道のりや、歴史と文化の厚みを次世代のまちづくりに活かしていこうとする私たちの取り組みを紹介しましたが、現地での視察を通し、アバディーンはオイルの後のまちづくりをまだ考えていないこと、そして芸術に対する関心が低く、彼らの悩みからもアートの土壌がないということが伺えました。

今後もアートに限らず、学術分野などに広げること、インターネットを介して知見、情報の交換などを密に行っていくこと、共同の制作物や作品作りを行うことなどを視野に入れ、交流を継続していきたいと思えます。

大学のフィールドワーク、高校生への講話など、いくつか担当しました。ガイド料金のなかに「学生は1日何時間でも1,000円」という料金を設定し、学生さんたちの調査や研究のサポート機関であることを明確にしました。

(9) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

ハルニレプロジェクト

会員の武田信仁さんの発案で、認定こども園建設工事のため伐採される旧清水沢小学校の校庭木を未来の子どもたちに引き継ぐプロジェクトを行うことにしました。学校開設当初からあると思われるハルニレの大樹などは老化が著しく、認定こども園の樹木として引き継ぐことは難しいそうです。武田さんは、「切るのが避けられないのであれば何かの形で残したい」と考え、市建設課・市教育委員会と相談を進め、樹木の伐採・運搬・保管を行うことで、これらの樹木を活用させていただくという道筋をつけてくれました。木材を加工して木製遊具（パレットファームに依頼）やモニュメント（櫻井亮さんに依頼）を作成し、認定こども園に寄贈することを目指していますが、高額な資金が必要となるため、助成金やスポンサー探しを行っているところです。そのほかの木材は、夕張市内で芸術家や小中学生の授業に使ってもらえるようにします。

第3期（2018年度）決算

貸借対照表

(平成31年3月31日 現在)

一般社団法人清水沢プロジェクト（事業全体）

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	317,922	【 流 動 負 債 】	332,706
現 金 及 び 預 金	304,002	未 払 金	258,171
売 掛 金	13,920	預 り 金	41,247
		役 員 借 入 金	33,288
		負 債 の 部 合 計	332,706
		正 味 財 産 の 部	
		科 目	金 額
		【 一 般 正 味 財 産 】	△ 14,784
		前 期 正 味 財 産	643,039
		当 期 正 味 財 産 増 加 額	△ 657,823
		正 味 財 産 合 計	△ 14,784
資 産 合 計	317,922	負 債 ・ 正 味 財 産 合 計	317,922

正味財産増減計算書（事業全体）

（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

（単位：円）

科 目	金 額	
経常増減の部		
経常収益		
正会員受取会費	93,000	
一般会員受取会費	39,000	
賛助会員受取会費	20,000	
受取寄附金	35,259	
受取助成金	398,000	
売上高	2,636,465	
雑収入	22,001	
受取利息収入	3	
経常収益計		3,243,728
経常費用		
役員報酬	1,227,780	
雑給	268,000	
法定福利費	140,934	
外注費	363,685	
荷造運賃	11,222	
広告宣伝費	87,390	
交際費	57,003	
会議費	69,790	
旅費交通費	197,118	
通信費	162,317	
消耗品費	131,109	
修繕費	4,470	
水道光熱費	465,724	
新聞図書費	34,608	
支払手数料	91,957	
諸会費	9,000	
研修費	7,857	
車両費	261,388	
保険料	31,036	
支払報酬料	216,338	
租税公課	1,000	
雑費	28,525	
経常費用計		3,868,251
法人税、住民税及び事業税		33,300
当期正味財産増減額		△657,823
前期繰越正味財産額		643,039
次期繰越正味財産額		△14,784

正味財産増減計算書（収益事業）

（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

（単位：円）

科 目	金 額	
経常増減の部		
経常収益		
正会員受取会費	0	
一般会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
受取寄附金	0	
受取助成金	0	
売上高	1,134,024	
雑収入	0	
受取利息収入	0	
経常収益計		1,134,024
経常費用		
役員報酬	429,232	
雑給	268,000	
法定福利費	49,271	
外注費	327,467	
荷造運賃	8,659	
広告宣伝費	77,784	
交際費	48,204	
会議費	24,594	
旅費交通費	162,679	
通信費	56,360	
消耗品費	40,992	
修繕費	1,563	
水道光熱費	162,817	
新聞図書費	10,669	
支払手数料	34,467	
諸会費	3,146	
研修費	2,747	
車両費	91,381	
保険料	10,850	
支払報酬料	71,738	
租税公課	350	
雑費	9,972	
経常費用計		1,892,942
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		△758,918
前期繰越正味財産額		1,000,522
次期繰越正味財産額		241,604

正味財産増減計算書（非営利事業）

（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

（単位：円）

科 目	金 額	
経常増減の部		
経常収益		
正会員受取会費	93,000	
一般会員受取会費	39,000	
賛助会員受取会費	20,000	
受取寄附金	35,259	
受取助成金	398,000	
売上高	1,502,441	
雑収入	22,001	
受取利息収入	3	
経常収益計		2,109,704
経常費用		
役員報酬	798,548	
雑給	0	
法定福利費	91,663	
外注費	36,218	
荷造運賃	2,563	
広告宣伝費	9,606	
交際費	8,799	
会議費	45,196	
旅費交通費	34,439	
通信費	105,957	
消耗品費	90,117	
修繕費	2,907	
水道光熱費	302,907	
新聞図書費	23,939	
支払手数料	57,490	
諸会費	5,854	
研修費	5,110	
車両費	170,007	
保険料	20,186	
支払報酬料	144,600	
租税公課	650	
雑費	18,553	
経常費用計		1,975,309
法人税、住民税及び事業税		33,300
当期正味財産増減額		101,095
前期繰越正味財産額		△357,483
次期繰越正味財産額		△256,388

科目	決算額		内訳									備考
			1炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業	2地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業	3炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業	4上記各号に関する活動を目的とした来訪者の受け入れ、情報提供、支援に関する事業	5地域活動の活性化支援事業	6地域情報の受発信、物販に関する事業	7喫茶・飲食事業	8地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業	9前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業	
経常増減の部												
経常収益												
正会員受取会費	93,000											93,000
一般会員受取会費	39,000											39,000
賛助会員受取会費	20,000											20,000
受取寄附金	35,259											35,259
受取助成金	398,000		100,000						298,000			8黄色いハンカチ 298,000は3が正しい 関わり人口事業は8で はなく2が正しい
売上高	2,636,465		779,290		115,600		82,080	125,310	0	1,534,185		
受取利息	3											3
雑収入	22,001											22,001
経常収益計		3,243,728	879,290	0	115,600	0	82,080	125,310	0	1,832,185		209,263
売上原価	0											
売上総損益金額		3,243,728										
経常費用												
役員報酬	1,227,780											1,227,780
雑給	268,000		188,000	80,000								
法定福利費	140,934											140,934
福利厚生費	0											
研修費	7,857					6,857						1,000
外注費	363,685		255,685						108,000			2小林直樹氏ホーム ページ管理料 8佐藤 デザイン外注受注
荷造運賃	11,222		680					1,563		6,084		2,895
広告宣伝費	87,390		7,500	11,990				65,120				2,780
交際費	57,003		5,799	15,650	2,680							32,874 お賽銭、東亜建材お中 元お歳暮、文化協会授 賞式参加費など
会議費	69,790		22,548	14,136	1,140	1,080	1,540		2,250			27,096 夕張会費、ガイド時 食事、打ち上げなど
旅費交通費	197,118			87,460					107,558			2,100 東京往復×2、イギリ ス国内移動など
通信費	162,317				155,868			250				6,199
消耗品費	131,109		46,787	9,454	26,591	2,564		722				44,991
修繕費	4,470				4,470							
水道光熱費	465,724				465,724							
新聞図書費	34,608		2,500									32,108
諸会費	9,000											9,000 町内会費・三菱大夕張 鉄道保存会・ユウバリ コザクラの会
支払手数料	91,957		1,296	5,200								85,461 経理ソフト、Adobeラ イセンスなど
車両費	261,388											261,388
保険料	31,036			2,400								28,636 スポーツ安全保険・火 災保険・施設賠償責任 保険
租税公課	1,000											1,000
支払報酬料	216,338		11,138									205,200
雑費	28,525											28,525
経常費用 計		3,868,251	286,248	481,975	656,473	7,937	4,104	67,655	0	223,892		2,139,967
法人税等		33,300										
当期正味財産増減額		△ 657,823										
前期繰越正味財産額		643,039										
次期繰越正味財産額		△ 14,784										

(単位 円)